

D

2026(令和8)年度入学試験 国一D一問

国 語

解答方法について

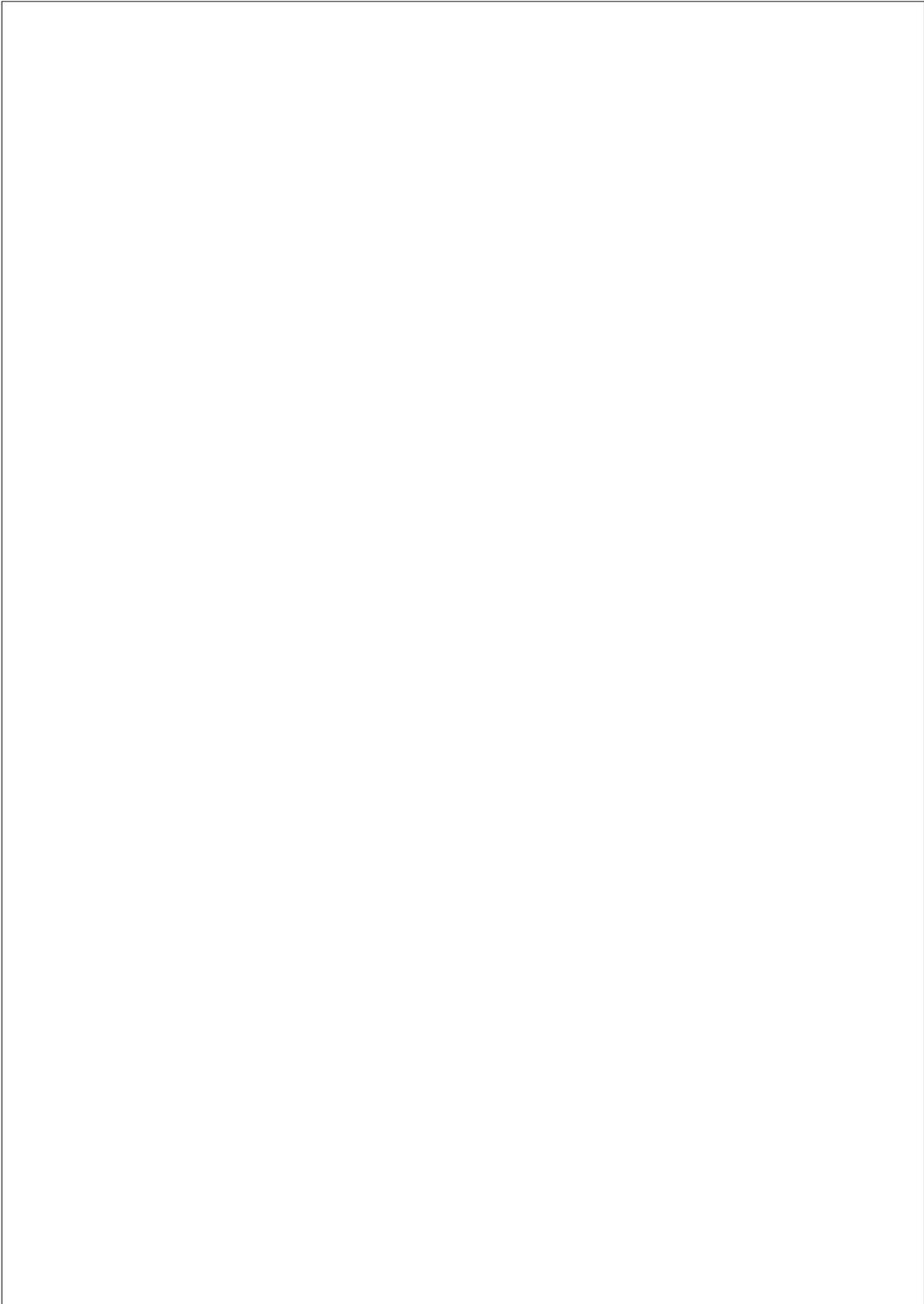
1. 問題〔一. (現代文)〕, 〔二. (現代文)〕は, 全員が解答すること。
2. 問題〔三. (古文)〕及び問題〔四. (漢文)〕は, いずれか一方のみを選択して解答すること。
3. 記述式解答用紙は, マークシート解答用紙の「古文」および「漢文」のマーク欄でマークした方を採点します。

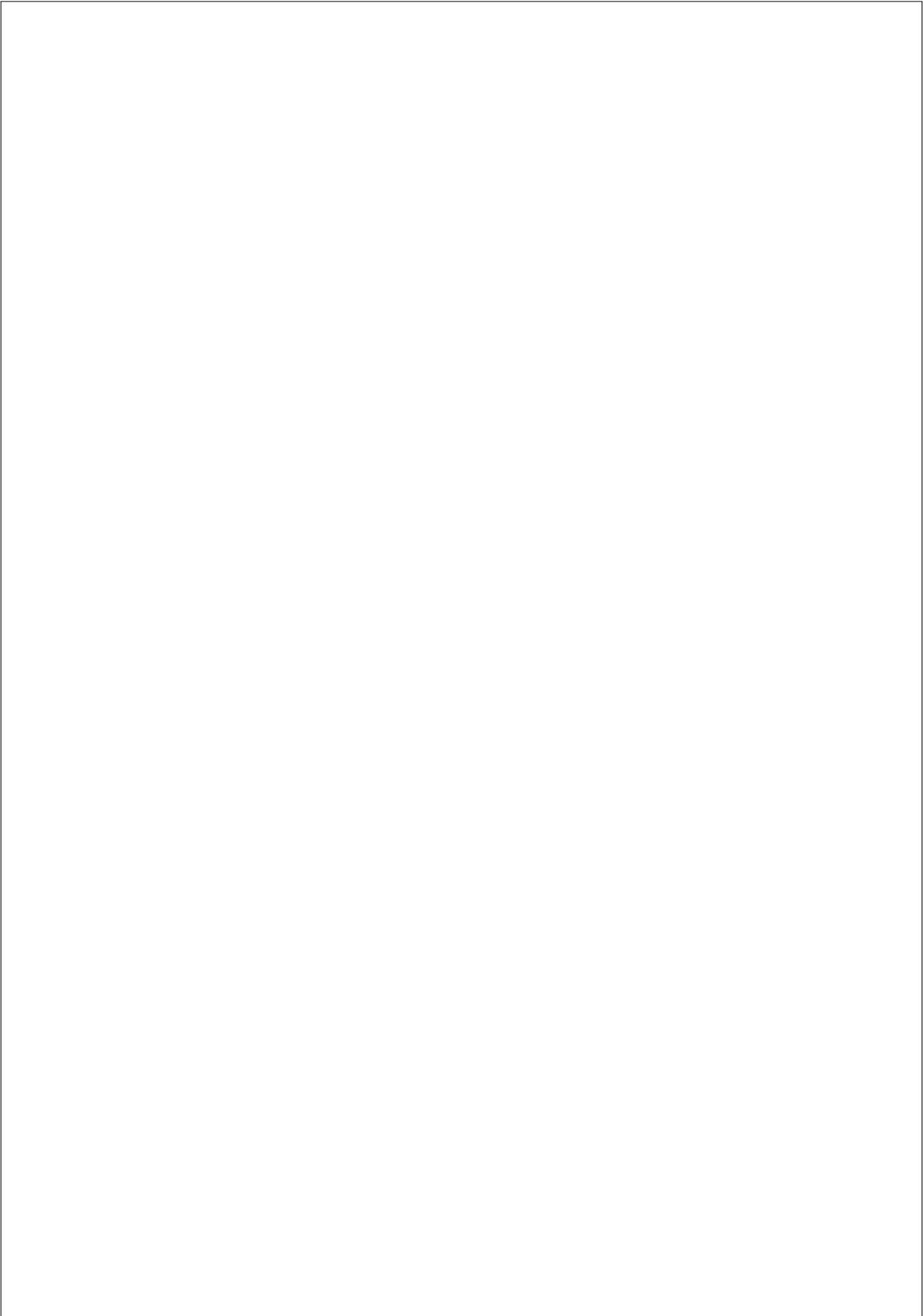
(注意: 解答はすべて所定の解答用紙に記入すること)

1. この問題冊子は, 23 ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明, ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は, 手を高く挙げて監督者に知らせてください。
2. 設問中, 「番号をマークせよ」と指示されている場合は**マークシート解答用紙**
数学以外共通 に, 指示がない場合は記述式解答用紙に記入すること。
マークシート解答用紙の記入にあたっては, 次の点に注意すること。
 - ① マークはHB, 又はBの鉛筆(シャープペンシル可)を使うこと。ボールペン, サインペン等はたとえ黒であっても使用しないこと。
 - ② マークシート解答用紙は電算機にかけるので, 折りまげたり汚したりしないこと。
 - ③ 間違ってマークした場合は, 消しゴムできれいに消してからマークしなおすこと。
 - ④ マークは次に示すように枠内を黒く塗りつぶすこと。
※ マークのつけ方の正しい例 (3を解答する場合)
① ② ● ④
※ マークのつけ方の悪い例
① ② ③ ④
3. マークシート解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので, それぞれ正しく記入すること。正しく記入されていない場合, 又は正しくマークされていない場合は, 採点できないことや0点になることがあります。
 - ① 受験科目欄: 「国語」にマークすること。また, 「古文」および「漢文」のうち解答するいずれか一方をマークすること。
 - ② 氏 名 欄: 氏名・フリガナを記入すること。
 - ③ 座席番号欄: 座席番号を記入し, さらにその下のマーク欄にマークすること。

〔一〕 次の文章を読み、あとの設問に答えよ。ただし、本文の一部を省略してある。

大問〔一〕の問題文は著作権上の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。





問一 傍線部(ア)・(ウ)のカタカナを漢字に直せ。

問二 傍線部(イ)の漢字の読みをひらがなで記せ。

問三 傍線部①「自分の体の中にあるセンサーの最も敏感なところが何らかの反応をした」例として、最も適当なものを、次の

なかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は①。

- 1 姉のおさがりが嫌で、かわいい服が欲しいと強く願っていたら、それが現実になり嬉しかったこと。
- 2 かんしゃくを起こしたりしながらも、最終的には空気を読んで周りの人に合わせる事ができたこと。
- 3 なんとなく悪いことが起こりそうな予感がして、予定とは違う電車に乗ることにしたこと。
- 4 自分のためにくれたことに対して、幼い子どもらしく素直な笑顔を見せることができたこと。
- 5 少しくらい嫌なことがあっても表情には出さず、相手を傷つけないようにふるまえたこと。

問四

空欄 A

・ C

・ D

の番号をマークせよ。解答番号は②。

に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次のなかから一つ選び、そ

- 1 A それこそ C しかし D そうして
- 2 A それなのに C もちろん D そうなると
- 3 A きつと C それに対して D そうはいうものの
- 4 A さらに C だからこそ D ところが
- 5 A だから C したがって D そのため

問五

空欄 B

に入る最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は③。

- 1 帰巢
- 2 母性
- 3 鬭争
- 4 生存
- 5 共感

問六 傍線部②「学校や会社、社会生活に順応するために、自分の感覚を無視してでも、周りの状況に合わせるように」した結果、人はどうなると筆者は考えているか。筆者の考えとして最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は④。

- 1 自分の体の感覚が絶対に安全だと感じるまでは、他人に判断を委ねてしまうようになる。
- 2 自分もともと持っていた感覚が働かなくなり、自分にとって何が幸せかわからなくなる。
- 3 自分だけでは回避できなかった危険を周りが察知してくれて、うまく避けられるようになる。
- 4 自分の体のセンサーがキャッチした違和感のみならず、他人の感じる違和感にも気づくようになる。
- 5 周りにいる「立派ないい人」に近づけるよう、自分なりの努力を続けることができるようになる。

問七 傍線部③「しかたないな」と周りに合わせる心境に筆者が至った理由として最も適当な箇所を、本文中から十五字以上二十字以内でそのまま抜き出せ。

問八 傍線部④「眠ったり、休んだりしている時も、決して無為ではない」理由として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑤。

- 1 基本的なサイクルが狂ってしまった生物の中には、元のサイクルに回復するとき、無意識に眠ってしまう生物がいるから。
- 2 眠っている間は、傷ついた出来事や嫌なことを忘れられるし、その間に他の人が問題を解決していることもあるから。
- 3 眠る暇もないほどがんばっている人、充実している人ほど上手に休める技術が身に付いているから。
- 4 悲しみや怒りで心が傷ついたときは、休む時間が、体が心を回復させるのに必要な時間になっているから。
- 5 価値がある生活を送っている人ほど、よく働き、よく休むというサイクルが出来上がっているから。

問九 本文から抜粋した次の部分は I ～ V のどこに入るか。最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は 6。

大問(二)の問題文は著作権上の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。

- 1 I 2 II 3 III 4 IV 5 V

問十 筆者の主張する内容として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は 7。

- 1 幸せとは、怒りや悲しみでメンタルが不安定なとき、自分一人でコントロールができるようになることである。
- 2 幸せとは、自分の不快の感覚を手放し、一人の大人として周りを傷つけない振る舞いをし、周りの信頼を得ることである。
- 3 幸せとは、基本的なサイクルは大切にしつつ、眠る暇がないほど充実しているときに、寝ないでいられる強さをもつことである。
- 4 幸せとは、外的な環境の全てが整っていて、何のトラブルもなく生活ができ、快の気持ちが続くことである。
- 5 幸せとは、自分自身が自分の体の快・不快を熟知していて、体も心も無理をしない状態でいられることである。

〔一〕 次の文章を読み、あとの設問に答えよ。ただし、本文の一部を省略してある。

超一流の達人は、質の高い練習を長期間にわたって毎日欠かさない。そういう姿を見ると、達人になるには、たゆまぬ努力^①が必要なのだと思うされる。とはいえ、そう思いながらも、「やっぱり最後は生まれつきの才能だ」と多くの人が信じているのではないか。努力か、才能か。この問題を科学的に検証するのは難しい。まず、「才能とは何か」をきちんと定義しなければならぬ。

「才能」ということばは、複数の異なる意味で使われているので要注意だ。才能は「すぐれた能力」という意味でよく使われる。その時には「持つて生まれた」とか「生まれつきの」という意味合いはとくに必要ではない。そのような意味で「才能」ということばが使われることに問題はないと思われる。

ところが、「努力か、才能か」という問い方をするときは、才能ということばは「持つて生まれた能力」という意味合いを持ち、「努力では到達できない能力」という意味合いが強くなる。この二番目の使い方は、実体のよくわからない漠然とした意味で使われているので、私には気持ちが悪い^②。

非常にすぐれた数学者や科学者になるための才能、すぐれたスポーツ選手や音楽家になるために必要な生まれつきの才能、チェスや将棋や囲碁の名人になるための才能、大企業の経営者として成功するための才能とは、それぞれ何だろうか。スポーツ選手のすぐれた運動能力は、持つて生まれた反応の速さや動体視力などの視覚能力の高さが関係していると考える人は多い。これが一流のスポーツ選手になるための才能なのだろうか？ あるいは(それが何であれ)高性能の筋肉、肺、心臓などをつくりだすための「A」のようなものがあるのだろうか？

達人たちは、自分の分野に必要なことに関しては驚くべき記憶力を持つ。では、よい記憶力を持つことが才能なのだろうか？ 将棋や囲碁の達人になるには「思考力」が最も大事だ。すぐれた記憶力や思考力を生むための遺伝子が存在するのだろうか？ 一流の音楽家の多くは絶対音感がある。生得的に備わった絶対音感が一流の音楽家になるための条件であると信じてい

る人は多い。それはほんとうなのだろうか？

才能が大事というからには、才能はごく少数の達人（「天才」と呼ばれる人）たちを生み出す原因でなくてはならない。結果ではない。しかし、「才能」の話はとかく、その達人がどのような遺伝的な素因を持つていたかという観点から語られる。一方で、「天才」や「拔きん出た達人」が、たゆまぬ努力をつづけていることも紛れもない事実である。

棋士の羽生善治さんが子どもの時から、常に己を律してストイックに努力を重ねてきたこと、独自の勉強法を模索しつづけてきたことは、ご自身や長年お付き合いのある方たちの回想などで明らかにされている。

野球のイチロー選手はどうだろうか。彼はインタビューで、小学生のころどのように練習していたかを語っている。イチロー選手は小学生のころから毎日バッティングセンターに通っていた。しかし、ただ普通にバッティング練習をしていたのではない。小学生のイチロー選手（というより子どものイチロー君）は、マシンのスプリングを目いっぱい硬くしてもらって、できるだけ速いボールが来るように調整してもらっていた。それでもプロが投げる球の速さではなかったので、バッターボックスの外に出て、より近い距離でボールを打ち、「プロはこのくらい速いボールを打っているのだ」と計算しながら練習をしていたそうだ。

このように、超一流の人は、超一流のパフォーマンスをするために、小さいころから質の高いトレーニング方法を模索しつづけて、実践しているのである。また、実践をしながら集中力の緩急の付け方、時間の配分のしかたも同時に学んでいる。

しかし、彼らと同じように小さいころから毎日練習していても、だれもが超一流のレベルに届くとは限らない。では、超一流のレベルにまで到達する「天才」と呼ばれる人たちには、いったいどんな特徴があるのだろうか？

幼少のころから能力を発揮し、「天才」と呼ばれた人たちの自伝や様々な資料をもとにした研究の中には、天才たちの特徴は

B

なものよりむしろ、

C

なものであることを示しているものがある。のちに天才と呼ばれた人たちは、音楽

にせよ、絵画にせよ、その分野で小さいときから極度なモチベーションを示すことが普通である。そういう「意志の強さ」を才能と呼ぶこともある。羽生善治さんは才能について問われると、「ひらめきやセンスも大切ですが、苦しまないで努力を続けられるということが何よりも大事な才能だと思いますね」と答えている。

たしかにその通りである。子どものころから何かに打ち込み、学校や近所の年代の子どもが遊んでいるときに練習にハゲむのは、普通の感覚では簡単にできることではないかもしれない。しかし、問題はそのような意志の強さ、^(エ)ネバリ強い性格が、生まれつきの素因で決まるか否かだ。

何かが好きで始めてみて夢中になり、練習すればするほど向上することがわかり、さらに練習するようになる。さきほど述べたように、練習に工夫を重ねること自体が喜びになり、生活の一部になる。^(ウ)このようなサイクルがあるとすると、そのような性格を「特段にすぐれた能力」という意味で「才能」と呼ぶことはかまわない。しかし、環境や努力と切り離された「生まれ持った素質」という意味で呼ぶことに、^(エ)明確な科学的裏付けはない。

(今井むつみ『学びとは何か——探求人』になるために)

問一 傍線部(ア)・(イ)の漢字の読みをひらがなで記せ。

問二 傍線部(ウ)・(エ)のカタカナを漢字に直せ。

問三 傍線部①「たゆまぬ努力」・傍線部④「とかく」の本文中の意味として最も適当なものを、次のなかからそれぞれ一つずつ

選び、その番号をマークせよ。解答番号は、①は8、④は9。

① たゆまぬ努力

- 1 集中力を切らさず、常に高い緊張感を保つこと
- 2 同じ行動を繰り返すことで習慣化された所作
- 3 一定の力を安定して発揮し続ける能力のこと
- 4 日々継続して意欲的に取り組みを続けること
- 5 長期間にわたって同じ行動を続ける状態

④ とかく

- 1 あることの主要な理由であるさま
- 2 あることを詳細に説明するさま
- 3 あることの傾向が強いさま
- 4 あることを残念に思うさま
- 5 あることを具体化するさま

問四 傍線部②「気持ちが悪い」と筆者が述べる理由として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑩。

- 1 多くの人が、才能はすぐれた能力であるという意味合いで使っていることを問題であると考えているから。
- 2 多くの人が、超一流の達人になるための条件について努力か才能かと、抽象的で感情的な議論を続けているから。
- 3 達人は努力もそれなりにするが、生まれ持った能力が高いからすぐれた能力があると多くの人が信じているから。
- 4 才能ということばが持つて生まれた能力という意味合いで使われるときに、その意味するところが漠然としているから。
- 5 超一流になるには努力か才能かという問いに対して、特定の人の努力がすぐれた能力という意味合いで使われるから。

問五 空欄

A

に入る語として最も適当なものを本文中から三字で抜き出せ。

問六

傍線部③「ごく少数の達人」たちが持つ特徴として筆者が本文中に述べていないものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑪。

- 1 独自の練習法を模索する力
- 2 努力を継続する意志の強さ
- 3 達人になるための運の良さ
- 4 高い目標に向かって自分を律する習慣
- 5 子どものころからの高度なモチベーション

問七

空欄

B

C

に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマ

クセよ。解答番号は12。

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| B | B | B | B | B |
| 客観的 | 精神的 | 技術的 | 能力的 | 後天的 |
| C | C | C | C | C |
| 主観的 | 肉体的 | 感情的 | 性格的 | 生得的 |

問八 傍線部⑤「このようなサイクル」の例として適当ではないものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑬。

- 1 絵具を混ぜて色を作ることに興味を持ち、できた色で風景画を描いたら、地域の大会で入賞した。描けば描くほど上達するのが自分でもわかり、毎日風景や人物の絵を描いている。最近では油絵やその他の技法にも挑戦したいと考えている。
- 2 将棋の駒の動きに興味を持ち道場に通い始め、ある日、対局で初めて格上の人に勝てたことで自信が付き、もっと強くなりたいと思って毎日勉強を続けている。最近では、自分なりの駒の動かし方を研究することが楽しくなり、試し続けている。
- 3 小さい頃から野球が好きでピッチング練習を続けていたところ、試合で三振が取れるようになり、もっとうまくやりたいという気持ちになった。現在は別の球種の習得のために、ボールの握り方や肩の動かし方を日々工夫して練習をしている。
- 4 両親の勧めでピアノを始め、毎週レッスンに通っている。音楽にはそれほど興味があるわけではないが、コンクールでの入賞をきっかけに、さらに上位を目指すようにと周りに言われ、次の課題曲を完璧に弾くため何時間も練習を続けている。
- 5 ダンス動画を見て、見よう見まねで踊っているうちにダンスに夢中になった。できる動きが増えるたびに達成感があり、今は毎週レッスンに通いながら、家や学校で好きな音楽に合った動きが瞬時にできるようさまざまな動きを試している。

問九 傍線部⑥「明確な科学的裏付けはない」の説明として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。

よ。解答番号は14。

- 1 才能ということばは科学的に定義されており、その実態の検証も進んでいるが、まだ一般には知られていない。
- 2 達人は、日々の訓練によってのみなるため、生まれ持った素質とは関係ないと確実に証明できる検証結果はない。
- 3 才能は、すぐれた経営者などのように、社会的に成功した人しか見られないため、科学的な検証が困難である。
- 4 達人は、環境や努力と切り離された生まれ持った素質を持っていることが自明のため、科学的な裏付けは必要ない。
- 5 才能ということばは、環境や努力と切り離して語られることが多く、生まれ持った素質という意味で使うことに科学的な根拠はない。

問十 本文の内容と最も合致するものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は10。

- 1 ごく少数の達人と呼ばれる人は、質の高い練習を長く継続することができる性格を持っており、そのような性格を才能と呼ぶことは、すぐれた能力としての意味であれば問題がない。
- 2 生得的に備わっているとされる一流の達人になるための才能を、日々の努力を続けることで誰でも身に付けることができる、ということについては科学的な根拠がない。
- 3 才能ということばは、複数の異なる意味で使われるが、「努力か、才能か」という問いの場合は、努力すれば誰でも身に付けられる能力という意味合いが強くなる。
- 4 天才と呼ばれる人は、その人の分野において子どものころから強い動機を示すことが普通であり、その意志の強さのことを多くの人は才能と呼んでいる。
- 5 棋士の羽生善治さんは、どれだけ苦しくても、自身のモチベーションを高め、努力を続けることができることが大事な才能であると言っている。

問二 傍線部①「心づきなくて」の現代語訳として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は16。

- 1 好きになる気持ちになれず
- 2 いつまでもここに残り
- 3 気にくわない思いがして
- 4 すっきりした感じになって
- 5 こころに叶うものであつて

問三 傍線部②「このことを聞かせじ」と思ふなり」の理由として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は17。

- 1 相手には聞かせてはいけないことだから
- 2 相手から不快に思われることを避ける気持ちがあるから
- 3 偏屈な人間だと思われて、嫌われたくないから
- 4 相手のところの中には、決して入ることはできないから
- 5 人のところは不安定なもので、難解なものであるから

問四 空欄 B に入る漢字一字を、本文中から選んで記せ。

問五 傍線部③「全くあるべし」の現代語訳として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番

号は18。

- 1 無事に続いていくことはないだろう
- 2 完全に続いていくだろう
- 3 正しく保たれるかもしれない
- 4 完全に減びるものではない
- 5 決して続いていくことはない

問六 傍線部④「頼めらむ」の文法的説明として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、番号をマークせよ。解答番号は

19。

- 1 マ行四段動詞未然形＋推量の助動詞
- 2 マ行四段動詞連用形＋推量の助動詞
- 3 マ行四段動詞已然形＋完了の助動詞＋推量・婉曲の助動詞
- 4 マ行下二段動詞未然形＋推量の助動詞
- 5 マ行下二段動詞未然形＋完了の助動詞＋推量・婉曲の助動詞

問七 傍線部⑤「ゆめゆめうしろめたなく、腹黒き心のあるまじきなり」の現代語訳として最も適当なものを、次のなかから一

つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は20。

- 1 決して自分が気後れすることなく、度量の小さい心は持たないほうがよい。
- 2 意地悪な気持ちになったのを、後悔せずにいるのは決してあることではない。
- 3 決して気後れすることがないように、意地悪い心のない様にすべきだ。
- 4 少しも気がとがめずに、悪心を持つことはあり得ない。
- 5 後ろめたい気持ちを持つのは良くないので、悪い心は持たないほうがよい。

問八 本文の内容と最も合致するものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は21。

- 1 人の激しい怒りを鎮めるためには、穏やかに鎮める方法をとるのが良い。
- 2 どんな場合でも親や朋友がいさめれば、結果的には人の心は収まる。
- 3 主人の悪いところをいさめると、その結果として恩を受けることになる。
- 4 いつの時代でも、必要な時には父母や親友に対しても穏やかにいさめなければならない。
- 5 後から状況が悪くなっても、人からいさめられたことを思い出すことなどはない。

〔四〕 次の文章を読み、あとの設問に答えよ。ただし、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

朱買臣字翁子、吳人也。家貧、好誦書、不治産業、常艾薪樵。

① 売以給食、担束薪、行且誦書。其妻亦負戴相隨、A止買

臣母歌嘔道中。買臣愈益疾歌、妻羞之、求去。買臣笑

曰、「我年五十当富貴、今已四十余矣。汝苦日久、待我富貴

報汝功。」妻恚怒曰、「如公等、終餓死溝中耳。何能富貴。」買

臣不能留、即聽去。

其後、買臣独行歌道中、負薪墓間。故妻与夫家俱上冢、見買

臣飢寒、呼飯飲之。

何年かして朱買臣は長安に赴き、紆余曲折を経て会稽（現在の紹興）の太守（長官）にまでなった。会稽に赴任する途中で呉に立ち寄る。

錢令葬。

入^リニ^{シト}キ^キ 吳^ノ 界^ニ、見^ルニ^ル其^ノ 故^ヲ 妻^ヲ 夫^ヲ 治^ム道^ヲ。^(注9) 買^ル 臣^ト 駐^レ 車^ヲ、呼^ビ 令^メ 後^ニ 車^ニ 載^セ 其^ノ 夫^ヲ 妻^ヲ 到^リ 太^ノ 守^ニ 舍^ニ 置^キ 園^中 中^ニ 給^タ 食^ヲ 之^ニ。居^ル 一^月、妻^自 經^ラ 死^シ。^(注10) 買^ル 臣^ト 乞^フ 其^ノ 夫^ヲ。

(注) 1 産業——生業。

2 薪樵——たぎぎ。

3 歌嘔——歌を歌う。

4 愈益——ますます。

5 如公等——あなたたちのような人。

6 溝——水路。

7 夫家——夫。

8 冢——墓。

9 治道——道路工事をする。

10 經——首をくぐる。

〔漢書〕

問一 傍線部①「売以給食」について、朱買臣の収入は何から得られたのか。最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は22。

- 1 たぎと食べ物を売ること
- 2 植林した材木を売ること
- 3 たぎを売ること
- 4 本を売ること
- 5 本とたぎを売ること

問二 空欄

A

に入る「しばしば」と読む漢字として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は23。

- 1 数
- 2 常
- 3 復
- 4 已
- 5 尽

問三 傍線部②「我年五十当富貴」の書き下し文として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は24。

- 1 我年五十にしてまさに富貴ならんとす
- 2 我年五十にしてまさに富貴なるべし
- 3 我年五十にしてよろしく富貴なるべし
- 4 我年五十にしてすべからく富貴なるべし
- 5 我年五十にしてなんぞ富貴ならざる

問四 傍線部③「終」、⑥「独」の読み方を、それぞれ送り仮名も含めて、ひらがな三字で解答欄に記せ。現代仮名遣いでもよい。

問五 傍線部④「何能富貴」の意味として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は25。

- 1 何だか富貴になることができるような気がします。
- 2 何とかして富貴になる姿を見せてください。
- 3 どうして富貴になることができるでしょうか。
- 4 どうすれば富貴になることができますか。
- 5 富貴になるかどうか、何か言えますか。

問六 傍線部⑤「買臣不能留、即聴去」の意味として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は26。

- 1 買臣はそこにいることができなかったので、すぐに離婚を聞き入れた。
- 2 買臣はそこにいることができなかったので、すぐに聞きに行ってもらった。
- 3 買臣は留守にすることができなかったので、何とか立ち去ろうとした。
- 4 買臣は引き止めることができなかったので、すぐに離婚を聞き入れた。
- 5 買臣は引き止めることができなかったので、やがて離婚を聞き入れた。

問七 傍線部⑦「買臣乞其夫錢令葬」は「買臣其の夫に錢を乞へ葬らしむ」と読む。解答欄の白文に返り点を付けよ。送り仮名は不要。

問八

本文の内容と最も合致するものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は□。

- 1 朱買臣と元妻は、たきぎを拾いながら、二人で歌っては涙を流していた。
- 2 朱買臣は結婚していた時、当時の妻には家事のみ任せ、苦労はかけなかった。
- 3 朱買臣と別れた女性は、再婚した後、再婚相手とたきぎを拾って暮らした。
- 4 朱買臣と別れた女性は、何年かして再会すると、復縁して太守の宿舎に住んだ。
- 5 朱買臣は太守の宿舎で、別れた妻とその夫に食事を出してもてなした。